

ストローマン syn0cta 1.5 アバットメント

【禁忌・禁止】

<適用患者>

次の患者には使用しないこと。

- ・本品の成分及び類似成分に対して過敏症の既往歴のある患者
- ・インプラント埋入部位の骨質・骨量がインプラントを支持するのに不十分な患者。[オッセオインテグレーションが得られず、脱落等の恐れがある。]
- ・出血性素因を有する患者。[異常出血を起こす恐れがあり、手術部位の治癒が不良になる恐れがある。]
- ・コントロールされていない糖尿病患者。[手術部位の治癒不良及び易感染性が高まる恐れがある。]
- ・一般的な口腔外科手術が禁忌とされる患者。[侵襲により疾患の悪化、既往症の再発もしくは術後の手術部位の治癒が不良になる恐れがある]
- ・骨の成長過程が完了していない患者。[顎骨形成不良の要因となる恐れがある。]
- ・悪性腫瘍等により放射線照射や化学療法を受けている患者。[手術部位の治癒が得られない恐れがある。]

<使用方法>

- ・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、上顎又は下顎において歯科用インプラントフィクスチャに固定して上部構造体(クラウン、ブリッジ又はデンチャー)の支台として使用するアバットメントである。アバットメントをインプラントフィクスチャに固定するペーサルスクリューはアバットメント内部に組み合わされ、スレッドインセットで脱落を防止している。表面にはロット番号を識別するためのレーザーマーキングが施されている。

2. 形状

1) syn0cta 1.5 スクリューリテインアバットメント

製品識別番号	接続部	
048.601	RN	
048.603	WN	

3. 作動原理

本品は予め組み合わされたペーサルスクリューでインプラントフィクスチャへ固定し、上部構造体(クラウン、ブリッジ又はデンチャー)の支台となるものである。

4. 原材料

チタン合金、Ti-6Al-7Nb(TAN)

【使用目的又は効果】

本品は、歯科用インプラントフィクスチャに固定して上部構造体の支台として使用する。

【使用方法等】

1. 併用医療機器

本品はストローマン社が指定するインプラントコンポーネンツ並びに併用手術器具とのみ併用すること。インプラント接続部の略称(RN、WN等)と一致する構成部品と組み合わせて使用する。

2. 使用前

本品は出荷時、未滅菌である。ストローマン社は使用前に以下の手順で滅菌することを推奨する。

方法: 高圧蒸気滅菌

条件: 134℃、5分

3. 使用方法

手順は治療計画によって異なる。標準的な手順は以下のとおりである。

- (1) インプラントフィクスチャの埋入と歯肉の治癒
インプラントフィクスチャを埋入した後、歯肉が治癒するまでの間、封鎖スクリュー又はヒーリングアバットメントでインプラントフィクスチャの接続部を封じる。
- (2) 印象の採得及び暫間修復
歯肉の治療後、暫間補綴物を取り付ける前に印象採得を行う。
ーヒーリングアバットメント又は封鎖スクリューを取り外す。
ーインプラントフィクスチャの内側を入念に洗浄し、乾燥させる。
ー印象ポストをインプラントフィクスチャに固定し、弾性印象材を用いてインプラントレベルで印象を採得する。
ー暫間補綴物を取り付ける。(咬合負荷はかけない)
- (3) 補綴物の作成
クラウン、ブリッジ又はデンチャーを技工所で作成する。

(4) 最終補綴

適切な骨の治癒期間を経過した後、最終補綴を行う。注)

ー暫間補綴物を取り外す。

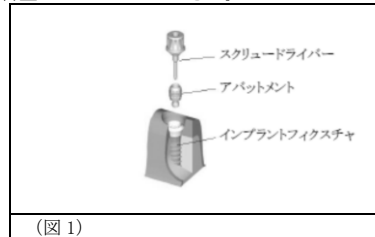
ーインプラントフィクスチャの内側を入念に洗浄し、乾燥させる。

ーアバットメントをインプラントフィクスチャに装着、スクリュードライバで締める(図1)。

ーアバットメントに上部構造体をスクリュードライバで締めて固定する。

注) 通常、適切な骨の治癒期間とは、インプラントフィクスチャを埋植後3~4ヶ月をさす。

SLActive 表面を持つインプラントフィクスチャと併用した場合、良好なインプラントフィクスチャの安定性が得られていれば、φ4.1mmとφ4.8mmのインプラントフィクスチャは術後3~4週以降、φ3.3mmのインプラントフィクスチャに関しては、少なくとも術後8週以降の暫間修復過程において全咬合荷重を加えることができる。



(図1)

使用時には以下の締め付けトルクを遵守すること。

機器の種類	締め付けトルク
アバットメント(最終補綴時)	35Ncm
アバットメント(暫間補綴時)	15~35Ncm
アバットメントの上部構造体	15Ncm
アナログ上における構成品の操作	手での締め付け

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- (1) 設計においては、インプラント及びアバットメントへの負荷及び周辺組織への影響を十分に考慮し、本品の種類及びサイズを選択すること。
- (2) 本品の装着には適切なインスツルメントを用いること。
- (3) 折損、変形などの原因になるため必要以上の力を加えないこと。
- (4) 本品を装着する際は、フィクスチャの内面を十分洗浄すること。
- (5) 術中は患者の全身のおよび口腔内の状態を監視し、異常が認められた場合は治療の中止等を含め、患者の安全を確保すること。
- (6) 術後の定期的な診査を行い、必要に応じて適切な処置を講ずること。

【使用上の注意】

【使用注意(次の患者には慎重に適用すること)】

- (1) 咬合障害、パラファンクション(ブラキシズム等)を有する患者。[インプラント体や補綴物の破損により外傷が生じ、再手術が必要になる恐れがある。]
- (2) 周術期の喫煙者。[創傷の治癒が得られない恐れがある]
- (3) 放射線治療の既往歴がある患者。[手術部位の治癒が得られない恐れがある]
- (4) 長期間に及ぶステロイド療法実施患者あるいは抗凝固薬、抗血小板薬を使用している患者。[手術部位、周囲組織、又は患者の治癒機能に影響する場合がある。]
- (5) 免疫抑制薬を使用している患者。[手術部位の治癒及び予後に影響する場合がある。]
- (6) 治療に非協力的な患者、口腔衛生管理・術後管理ができない患者[術後のケアが困難になる恐れがある。]

【重要な基本的注意】

- (1) インプラント治療を行う際には、「口腔インプラント治療指針」(公益社団法人日本口腔インプラント学会編)等の最新情報を参考に行うこと。

【相互作用】(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

<併用注意>

- (1) 電気メス・高周波メス等は手術時にインプラント体に接触しないように注意すること[意図しない発熱やスパークが発生する恐れがある]

【不具合・有害事象】

1) 不具合

- ・誤飲
- ・インプラント、アバットメント、他のコンポーネントやツールの損傷
- ・アバットメントや他のコンポーネントの締結部の緩み
- ・不適切な最終補綴物、クラウン、ブリッジ、オーバーデンチャー又はその他の補綴物の不具合
- ・インプラントの破損
- ・インプラントの喪失(脱落)及び/又は撤去

取扱説明書を必ずご参照ください

2)有害事象

- ・掌跖膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹(遅発性金属アレルギー疾患)
- ・患者の咀嚼機能不全

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本品は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
- ・常温・常湿で直射日光を避け、清潔な場所で保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:ストローマン・ジャパン株式会社

連絡先:0120-689-930

外国製造業者:Institut Straumann AG(ストローマン社)

外国製造業者国名:スイス連邦